

# 山岳遭難発生状況

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)  
地域部 山岳安全対策課

## 1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和5年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和6年	321	50	3	142	155	350
令和5年	302	37	3	160	132	332
前年同期比	19	13	0	-18	23	18

## 2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	62	19.3%	12	1	30	26	69
	後立山	61	19.0%	9	0	26	36	71
	その他	34	10.6%	3	0	13	22	38
計	157	48.9%	24	1	69	84	178	
中央アルプス	22	6.9%	3	0	9	12	24	
南アルプス	5	1.6%	0	0	4	1	5	
八ヶ岳連峰	60	18.7%	6	0	32	24	62	
その他の山岳	77	24.0%	17	2	28	34	81	
計	321		50	3	142	155	350	

## 3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	92	28.7%	31	0	63	0	94
転倒	71	22.1%	0	0	71	0	71
病気	16	5.0%	6	0	0	10	16
道迷い	46	14.3%	0	0	0	54	54
落石	3	0.9%	0	0	4	0	4
雪崩	5	1.6%	2	0	2	3	7
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	50	15.6%	4	0	0	51	55
不明・他	38	11.8%	7	3	2	37	49
計	321		50	3	142	155	350

## 4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	2	4	6		0	0	1	2	3	9		
20代	2	0	7	16	25	52	1	0	2	4	7	32	64	
30代	6	0	3	12	21	20.7%	0	0	1	1	2	23	18.3%	
40代	5	0	8	10	23	89	0	0	6	8	14	37	130	
50代	13	0	29	24	66	35.5%	2	0	16	9	27	93	37.1%	
60代	8	1	24	17	50	110	0	0	15	10	25	75	156	
70以上	12	2	17	29	60	43.8%	1	0	11	9	21	81	44.6%	
計	46	3	90	112	251		4	0	52	43	99	350		
比率	71.7%						28.3%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

年末の発生

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
12月28日	戸隠山 鏡池	男	30	無事救出	道迷い	単独で戸隠神社奥社から下山中、道に迷い、行動不能
12月30日	毛無山	男	50	死亡	転落	2人パーティでバックカントリーを滑走中、何らかの理由で雪に埋まったもの
12月30日	戸隠山 鏡池	男	26	無事救出	疲労	単独で戸隠神社奥社から下山中、道に迷い、行動不能
12月31日	北アルプス 爺ヶ岳	男	23	無事救出	その他	3人パーティで爺ヶ岳東尾根で幕営中、強風によりテントが破損し、行動不能
		男	21	無事救出	その他	
		女	20	無事救出	その他	

山岳安全対策課からのアドバイス

昨年の12月23日から12月31日の間、県内では、4件の山岳遭難が発生しました。  
 爺ヶ岳東尾根で発生した山岳遭難は、爺ヶ岳東尾根で幕営中、強風によりテントが破損、行動不能になったものです。通報時、3人のうち1人には低体温症の兆候が見られていましたが、雪洞を掘って風雪をしのぎ、翌日、無事に県警ヘリコプターで救助されました。  
 皆さんも、テントが使えない・仲間や自分が怪我をしたなど、トラブルが発生したときに対処ができるよう、入山前に確認・トレーニングをお願いします。  
 また、冬山に限りませんが、登山において**天候**は非常に重要な判断材料の1つです。  
 入山前や行動中に天候をよく確認し、  
     入山自体を中止する  
     行き先を変更する  
     登頂を断念して下山する  
 など、その都度、的確な判断をお願いします。